

# ふくじ草の会だより

福寿草の会  
 愛川町介護者の会  
 第141号  
 平成29年9月4日  
 連絡先 愛川町社会福祉協議会  
 TEL 046(285)2111



猛暑、長雨、豪雨と、厳しい天候の中でも、稲穂は黄色く色つき、頭を垂れています。乾いたイネの香の中を歩いてみます。どうぞ豊作でありますように。  
 そして、青い空から、爆弾などの降って来ることなどのない、平和な世でありますように。  
 「この世界の片隅に」という映画を見て、つましく、けんめいで、少しくしたたかな、庶民の生活が、いとおいしく感じられました。

## 9月のつどいは

9月26日(火)です

今月から第4火曜日となります。お間違えないよう、お願いします。

午後 1時半～3時

場所 福祉センター3階会議室

内容 情報交換・話し合い

- ★ 健康手帳をお持ち下さい
- ★ 会員でない方、初めての方も歓迎

## 介護セミナー

10月24日(火)

午後 1時半～

詳細はお茶の間通信 9月15日号で

## 7月のつどいから

7月18日は、開会時、ひょうが降るといふ悪天候の中、ズブぬれになって会場に到着した方もありました。(風邪をひくこともなかったようで、良かった) 15名の参加

話し合い・近況報告の中で、  
 ▷認知症の診断について

- A 病院に低酸素症で入院中、暴言・暴力があったと認知症と言われ、拘束された。家族としては認め難く、転院した。(70代の夫を介護中)
- B 専門の医師に診てもらって、ちゃんと診断してもらった方が良い。家族の目と違う場合もある。

- A ちゃんと診てもらった。医師の言うがままになっていたらと思うと怖い。
- C 寝たきりですと医師に言われたが、車いす生活まで回復した。



## — 新刊本紹介 —

ホスピス医が自宅で夫を看取るとき

著者 玉地任子先生 (もと1994~2012年 中めクリニック 医院長)

先生、3冊目の御著書、読みました。10年前、先生の助けで、末期ガンの母(83歳)を在宅で看取り、その2年後には、老衰の父(92歳)も、「死因を老衰と書くのは初めて」とおっしゃりながら、診断書を書いて下さいました。

その時のことがまざまざと思い出され、時々活字がかすみました。先生は執筆の手を何度止められたことでしょうか。

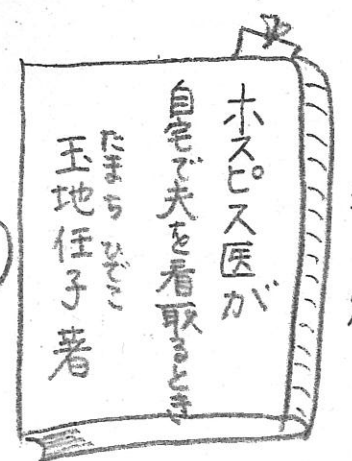
当時、60代初めだった夫と2人、点滴のやり方、こういうことが起こったら、こういう処置をと、こと細かに教えていただきこんなに長い時間、忙しい先生を引きとめてしまって良いのかしらと、よく思いました。

御本を読んでいると、先生のやさしい語り口そのままのお話を聞いているようです。

永年続けて来られた在宅ホスピスケア医師としての最後のお仕事、二人三脚でいらした、最大の理解者である、ご主人の看取りであったなんて!

妻として、介護者として、そして医師として!

あらためて、玉地寛光先生の御冥福をお祈り申し上げます。(小沼)



ミネルヴァ書房刊

定価 1800円+税

↓ (「助死医」という初めての言葉)のご主人との日々、先生のお気持ちには、はかり知れないものがあります。

90歳を越えていた父は、母を見て下された玉地先生、ヘルパーの渡辺さん、ケアマネの岡野さん(厚木市すみれ会の会長)に自分も看てもらいたくて、自分は舌カンドと言いつ張りました。

そのかいあって(?)、皆様にお世話していただき、必死に感謝の気持ちを伝えて、一週間で逝きました。(ガンではなかったのですが)

先生の御著書の紹介文のほすが、私事を書き連ねてしまいました。玉地任子先生、ありがとうございました。玉地寛光先生にもお世話になりました。やさしくて暖かな先生でした。

## まだまだ暑い日はやって来ます 熱中症には気をつけましょう!!

「OS-1」という飲み物が良いそうです。薬局で売っています。経口補水液 (自分で作るなら水1ℓに砂糖20~40g、塩3g) よく混ぜて、冷蔵庫に入れて1日で飲み干して! レモンなど入れると、飲みやすい。



皆様からの体験記を募集しています いつでも長さも自由です